

2024年度 SDGs関連科目一覧 / List of SDGs-related Courses for the Academic Year 2024

No.	学期／ Semester	開講	曜日・時限 / Period	登録コード / Registration Code	科目名／Course title	担当教員名／Instructor	授業の概要 ／Course description
1	春学期	春学期	月4	MHED7430	LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATION	SUGIMURA Miki	The class of 2024 will consider the characteristics of international education by addressing the concept of "Education for Sustainable Development (ESD)" in international education from a variety of case studies.International education is a field of pedagogy that focuses on how international relations affect various events in education, or conversely, how education affects international relations, international political and economic trends, and academic and cultural exchange, and clarifies the dynamism of such relations. There are various examples of ESD in Japan and overseas. ESD raises the important points of policy, curriculum development, teachers and educators' role, community and Internatoinal collaboration and cooperation.It also can raise the importance of examining internationalization and transnational education in higher education, and the nature of inter/transdisciplinary education and research. This class discuss those points. Besides the lectures and discussions, this class introduce Collaborative Online International Learning (COIL) practice in cooperation with Boston College.
2	春学期	春学期	月4	DHED7071	ADVANCED LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATION	SUGIMURA Miki	The class of 2024 will consider the characteristics of international education by addressing the concept of "Education for Sustainable Development (ESD)" in international education from a variety of case studies.International education is a field of pedagogy that focuses on how international relations affect various events in education, or conversely, how education affects international relations, international political and economic trends, and academic and cultural exchange, and clarifies the dynamism of such relations. There are various examples of ESD in Japan and overseas. ESD raises the important points of policy, curriculum development, teachers and educators' role, community and Internatoinal collaboration and cooperation.It also can raise the importance of examining internationalization and transnational education in higher education, and the nature of inter/transdisciplinary education and research. This class discuss those points. Besides the lectures and discussions, this class introduce Collaborative Online International Learning (COIL) practice in cooperation with Boston College.
3	春学期	春学期	月4	GSP30160	国際教育開発・協力論(理論と課題)	梅宮 直樹	本講義では、発展途上国における教育開発・協力に関わる理論と概念の変遷と教育開発・協力研究の系譜及国際的潮流を概説したうえで、初等教育、ノンフォーマル教育、中等教育、職業技術教育、高等教育など教育段階別の課題として、教育機会への公正なアクセスと格差の問題、教育の効率性の問題、教育と質と学習達成度(あるいは学力)の関係、教育と労働市場との関連性、教育部門のカパナンスとマネジメント、等を検討し議論する。また、国際教育開発の理論について、教育学、社会学、人類学、経済学、など様々な学問領域からの接近方法(アプローチ)を整理する。さらに、女子教育、教育と保健、紛争と教育復興、インクルーシブ教育などグローバルな課題を検討し議論する。最後に、「持続可能な開発目標(SDGs)」における教育目標の実現へ向けた将来展望を議論する。なお、担当教員はこれまでJICAや世界銀行で25年ほど国際教育協力に携わってきており、その経験・知見を踏まえた講義を行う(参考:https://www.jica.go.jp/recruit/shokuin/careers/careers02.html)。
4	春学期	春学期	月4	GQC10510	生涯学習概論	三宅 隆史	社会教育・生涯学習についての概説である。前半では生涯教育、成人の学習について扱う。生涯教育の理念、成人教育の目的と動機、内容と方法、施設と計画、SDGsなどについて講義する。後半では社会教育の実践と課題について講義する
5	春学期	春学期	火1	MFAS7760	国際開発協力研究:中東	佐藤 寛	中東は、地域研究の対象という意味で「地域」概念ではあるが、アフリカやアメリカと異なり、明確な地理的境界を持っておらず、単に西欧との相対的距離に基づいて規定されているという奇異な「地域」である。本講義では、このことの意味を「国際開発」「SDGs」というグローバル世界の文脈の中で再考する。私は歴史、宗教の専門家ではなく国際開発協力の専門家であり、同時に地域研究としては中東地域全般ではなくイエメンに特化した研究を続けてきた。私の40年にわたる開発研究、中東地域研究を踏まえて今一度「中東とは何か」を皆さんと一緒に考えていきたい。
6	春学期	春学期	火1	GSS30280	SDGsの課題と可能性:企業と投資家の視点 から	コ)森下 哲朗	国際社会が掲げるSDGsに対して、企業や機関投資家がどう取り組んでいるか、また、企業がどのような課題に直面しているかについての講義を行ったうえで、講義で学んだことを活かしながら、サステナブルな社会の実現に向けた企業・地域の課題についてのグループワーク及びプレゼンテーションを行う。前半の講義は、ESG、SDGsに関する前提知識について学んだあと、企業からみたESGについて、Environment, Society, Governanceのそれぞれの切り口からの講義を行う。その後、投資家がどのようにSDGsやESGに向き合っているかや、資本市場との関係についての講義を行う。また、実際にSDGsを実践する中小企業をゲストスピーカーとして招き、取組内容を聞く。後半では、受講者をチームに分けて、各チームで具体的なテーマを設定してもらい、グループで検討結果をまとめ、プレゼンテーションを行う。受講者数は60名程度を予定している。講義はりそなグループ(株式会社りそなホールディングス、りそなアセットマネジメント株式会社)により実施される。
7	春学期	春学期	火2	MGGE6170	森林生態学	朴 慧美	森林生態系を構成する植生、土壌、地形、気候、水の相互作用について学び、森林の成り立ち、成長、遷移、さらに攪乱過程について学び、気候変動の観点から森林資源保全と適切な管理の重要性を考察する。植生指数を含めたリモートセンシング・地理情報システム(RS/GIS)を用いる森林モニタリング技術について学ぶ、

2024年度 SDGs関連科目一覧 / List of SDGs-related Courses for the Academic Year 2024

No.	学期／ Semester	開講	曜日・時限 / Period	登録コード / Registration Code	科目名／Course title	担当教員名／Instructor	授業の概要 ／ Course description
8	春学期	春学期	火3	GSP20940	ESG概論 I	引間 雅史	本学ではSDGsに代表される社会課題を様々な側面から学修する機会を設けていますが本講座では投資と社会課題の密接な関わりに焦点を当て、社会課題解決に向けた企業と投資家の協働が投資成果と良好な社会的インパクトの両立につながる道筋を検討していきます。ESGの各側面で重要性の高い社会課題やテーマについて丁寧にみていくとともに中長期的企業価値向上を目指す投資家の意思決定や投資行動について学修します。 まず個人の金融取引や投資行動が社会に与える影響の経路を捉え、サステナブル投資が発展してきた背景を探ります。ESG投資の海外における歴史の変遷を学修するとともに日本における実態と課題を探っていきます。サステナブルファイナンスや情報開示に関わる国際的な取組みや規制は現在進行形でダイナミックに動いているわけですが、そういった国際的潮流を理解しつつ、日本の目指す方向性を考えていきたいと思います。 次に地球規模で大きな変革が起きつつある気候危機対応・脱炭素化について企業・投資家・政府それぞれの対応について見ていきます。特にこの面での世界の機関投資家の代表的ESG投資アプローチであるダイベストメント(投資撤退)とエンゲージメント(投資先との対話)について相違点や効果を考えていきます。また自然資本や生物多様性と企業経営や投資の関わりについても取り上げます。 S課題(社会面)については人権・労働問題、ジェンダー・ダイバーシティ、人的資本マネジメントなどの重要課題と企業価値との関係や投資家の役割などを考えていきます。コロナ禍を経てこれらの社会面の課題への関心は高まっていますが一方で評価基準が十分定まっていない問題点もあります。 最後にG課題(ガバナンス面)として国際比較を交えながら取締役会構造や役員報酬制度・政策保有株式などの問題を取り上げます。ガバナンスは企業のEとSの取組みにも影響する土台でもあり機関投資家も重視している要因であることから日本固有の課題も探っていきます。 本講座は投資に関するテーマを扱いますが、投資の技術的な側面は最小限に留めます。また短期的な収益を追求する投資は本講座の対象外となることを付け加えておきます。
9	春学期	春学期	火4	HED11100	国際教育学 I	杉村 美紀	国際教育学は、教育事象に国際関係、地域間関係がどのような影響を及ぼすか、あるいは逆に教育がどのような役割をになっているかを明らかにしようとする教育学の一領域です。本授業では、前半で国際教育学の諸分野で論点とされる開発と教育、国際理解、教育文化交流、多文化共生と教育の各側面をとりあげ、それぞれの制度や政策の歴史的展開と課題を整理します。授業後半では、特に教育問題をめぐる多国間関係、国際移動と教育、トランスナショナル教育、教育における国際地域連携の事例をとりあげ、その現代的意味と課題を検討します。なお、これらの観点のうち、「多文化共生と教育」については、2024年度秋学期に開講する国際教育学Ⅱでとりあげます。このように、国際関係では、国内外の人間と教育を巡る諸問題を教育学的に考察するとともに、人間尊重の教育を表現する協働について総合的・多角的に考究し、自らの考えを的確に表現する能力や国際的な視野を習得します。 本授業は基本的に講義形式を中心としますが、授業の中では適宜、話し合いやグループワークを取り入れるようにします。また単に講義を聴くだけではなく、また講義内容に関する知識や理解の定着と振り返りを目的として、適宜リアクションペーパーの作成を課します。課題の提示や提出、資料の掲示にあたってはMoodleを利用しますので、参加者はMoodle内にある本科目のサイトに事前に登録をお願いします。また実際の授業では、教材や資料をZOOM上で共有して検討することを前提として授業を進めます。
10	春学期	春学期	火4	MGGE6180	FOREST AND HUMAN INTERACTIONS	PARK Haemi	Forest ecosystem provides provisioning, regulating, cultural, and supporting services. In this class, the interrelationship between forest ecosystem and anthropogenic disturbances will be introduced. It focuses on the importance of forest conservation and the appropriate management by understanding potential human impact (i.e., wildfire, drought, and fertilization). Students can learn about basic remote sensing and GIS techniques for forest monitoring.
11	春学期	春学期	火4	DGGE7260	ADVANCED FOREST AND HUMAN INTERACTIONS	PARK Haemi	Forest ecosystem provides provisioning, regulating, cultural, and supporting services. In this class, the interrelationship between forest ecosystem and anthropogenic disturbances will be introduced. It focuses on the importance of forest conservation and the appropriate management by understanding potential human impact (i.e., wildfire, drought, and fertilization). Students can learn about basic remote sensing and GIS techniques for forest monitoring.
12	春学期	春学期	火4	GSP20960	国際高等教育論①(歴史と変遷)	梅宮 直樹	日本および世界の高等教育の歴史と現状について地域ごとに概観したうえで、今日の世界の高等教育の現状と課題、その中で大学が果たすべき役割について議論する。また、マレーシアとカンボジアの2つの大学の学生とオンラインでつなぎ、3か国の学生で集まって互いの国の文化、高等教育制度や大学生生活について意見交換を行う交流授業も実施する。なお、担当教員はこれまでJICAや世界銀行で25年ほど高等教育の国際協力に携わってきており、その経験・知見を踏まえた講義を行う(参考: https://www.jica.go.jp/recruit/shokuin/careers/careers02.html)。 なお、2024年度後期に開講する国際高等教育論②は、日本および世界各地で急速に進む高等教育の国際化に焦点をあてながら大学を取り巻く環境の変化と国際社会による対応を詳しく見るのに対して、本講義では、日本および世界の高等教育の歴史と現状について地域ごとに詳しく見ることを通じ、大学が果たすべき役割について議論する。また、国際高等教育論②の履修は国際高等教育論①を履修しなくても可能である。ただし国際高等教育論①を履修しておくのが望ましい。
13	春学期	春学期	火5	MFIC1080	STUDIES ON INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 1	梅宮 直樹	The course will review the evolution of theories and concepts related to international educational development and cooperation. The issues of efficiency, quality and learning achievement, the relationship between education and the labor market, governance and management of the education sector, etc. in different education sub-sectors will be examined and discussed. In addition, global educational issues such as girls' education, education and health, conflict and educational reconstruction, and inclusive education will be reviewed and discussed. Finally, we will discuss future prospects for the realization of education goals in the Sustainable Development Goals (SDGs). Students are expected to choose issues related to international educational development to explore and analyze issues and to present them in class.

2024年度 SDGs関連科目一覧 / List of SDGs-related Courses for the Academic Year 2024

No.	学期／ Semester	開講	曜日・時限 / Period	登録コード / Registration Code	科目名／Course title	担当教員名／Instructor	授業の概要 ／ Course description
14	春学期	春学期	水1	BGS59900	国際協力論概説A	田中 雅子	国際協力は、において人権を「持続可能な開発のための2030アジェンダ(SDGs)」に焦点を当て、国内外の開発、また私たちの暮らしと社会を変えるアクターであるNGO/NPOについて学ぶ。貧困、女性や子どもへの暴力、人権侵害、環境破壊など、地球規模の課題が深刻化する現代社会において、国家とは異なる市民の立場から、国境を越えてこれらの課題解決に取り組むNGOの役割が重要になっている。国内においても、行政や企業とつながり社会を変える流れをつくるNPOは、若者の社会参加や新たな働き方を実現する場として注目されている。NGOやNPO、またその根底にある社会運動・市民運動、それらを支える人とお金の流れについて理解し、自分の社会参加や働き方についても考えることを目指す。 予習としてテキストの該当章を読み、授業日は教員がアップロードする資料を見てリアクションペーパーをMoodleで提出する。フォーラム機能を用いて相互にコメントするなど、アクティブ・ラーニングを促す。週によっては授業時間内に小テストも行うが、事前に告知する。復習として参考資料を読み、レポート課題を準備する。ZOOMIによるライブ型授業については、学生の通信環境など確認の上、質問への回答や発表に利用することが可能であれば、後半での利用を検討する。
15	春学期	春学期	水2	MGGE7655	JAPANESE ENVIRONMENTAL LAW	ORI Akemi	As the international community is to diversify, in order to construct a Recycling-based Society, we need to think about the waste management not only in Japan but also in the entire Asia.The title is the waste policy in Asia, but since waste is an international issue, we will look at waste issues not only in Asia but also worldwide. We will also deal with recent marine plastic issues, Circular Economy, waste and SDGs. In the class, not only lectures but also government officials of automobile recycling and construction recycling, recycling companies, etc. will be invited as guest speakers. In addition to utilizing videos, tours to recycling plants will be conducted.For Doctor Course students, in addition to the basic lectures, we will give more analytical classes based on the themes of their dissertation.
16	春学期	春学期	水4	GSP20750	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	黒川 智恵美	In this course, we will study different concepts, theories, and practices related to international cooperation, with an emphasis on international development. The course begins with an introduction to key theories and concepts in international development. Later, we will explore specific topics such as poverty, economic growth, migration, environment, peacebuilding, education, health, and social inclusion. This approach aims to deepen our holistic understanding of global issues and challenges, and examine the efforts of the international community to address them by topics. Discussions will be held in every class.
17	春学期	春学期	水4	GSP20970	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION - OVERVIEW AND MANAGEMENT METHOD OF JAPAN'S INTERNATIONAL COOPERATION -	梅宮 直樹	Japan has been providing Official Development Assistance (ODA) for socio-economic development of developing countries as a member of the international community working to achieve the Sustainable Development Goals (SDGs). Meanwhile, Japan has a unique history of its own development and ODA. In addition to the experience of modernization from a non-Western society through the Meiji Restoration, Japan has a unique history of reconstruction after World War II, receiving much support from the international community, achieving high economic growth and becoming one of the largest donor countries. After reviewing the challenges and SDGs facing developing countries today, this course will overview and discuss the history, policies, characteristics and practices of Japan's ODA, with specific examples of cooperation projects. The class will also learn about project management methods through working in groups to design a project to address educational development issues in developing countries, using project management methods that are actually used in the formation of ODA projects. This course will be taught by a professor who has been involved in international cooperation with JICA (Japan International Cooperation Agency) and the World Bank for about 25 years (Reference: https://www.jica.go.jp/recruit/shokuin/careers/careers02.html)
18	春学期	春学期	水5	BGS57626	演習(国際協力論)1	田中 雅子	持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)は「誰ひとり取り残さない」ことを掲げている点に従来の開発目標との違いがある。「性、年齢、人種、民族に関係なくすべての人々が、また障害をもつ人、移民、先住民、子ども、青年、脆弱な状況下にある人々が社会への十全な参加の機会を確保すること」を目指している。この演習では、人権に関する国際規範の中から、各自が関心のあるものを選び、それが、どのような状況下に置かれた人に対して、どのように役立つのか、その成立背景にある市民運動、国内外の実践現場での活用例、国際協力の文脈における普及について学ぶ。「国際協力論概説」、「国際協力論1」と「国際協力論2」を履修済みであることが望ましい。
19	春学期	春学期	水6	MFIC1240	外交と国際協力論	山本 栄二	講師は、40年以上に亘り外交官として、外務本省並びに国連代表部(2回)、韓国(2回)、東南アジア等で政策立案・交渉に従事してきました。その間に得た知見をベースに、先ずは国連に関し、安保理のしくみと役割、そしてウクライナ侵攻で明らかになった限界に迫ります。総会が果たすルールメイキングの機能に着目し、日本のリーダーシップをクメールルージュ裁判の事例を通して明らかにします。現場の平和構築の努力と日本の取り組みを東ティモール(大使で赴任)等の事例を通して説明します。次に、バイの協力を中心に日本のODAの推移と現状を解説した後、地球規模課題に対する日本の貢献、具体的にはグローバルヘルス(含む新型コロナへの対応)、気候変動、外国人労働者問題(難民を含む)について学んでいきます(担当審議官乃至大使を歴任)。最後に、講師は長年朝鮮半島外交に従事し、北朝鮮には計6回訪問し、また韓国との関係では過去の歴史に起因する諸問題に取り組んできました。その際の生々しい経験と苦悩を皆さんと共有し、今後の日本の関わり方について一緒に考えていきます。 各授業では、基本的に講師がスライドなどを準備し講義しますが、皆さんとのインターアクションを重視し、質疑応答・討論にも十分な時間を充てます。また、最後の方では各学生が希望するテーマでプレゼンをしてもらい、その内容を踏まえて(期末)レポートを作成・提出してもらいます。 なお、授業は基本的に日本語で行いますが、講師は必要に応じて英語又は韓国語で学生をサポートします。
20	春学期	春学期	水6	MADS7170	生産性と企業価値のマネジメント	小林 裕亨	今後の日本企業は、SDGsやROICなどの概念を取り入れながら社外へのステークホルダーに対してオープンな姿勢で生産性高く価値を創出しなければならない。本講座では、生産性や企業価値に関する基本的な考え方、用語、フレームワークについて理解する。さらに、外部ゲスト講師によるレクチャーを通じて、データや情報を価値の源泉とする企業経営について、最新の潮流や考え方の知見を深める。

2024年度 SDGs関連科目一覧 / List of SDGs-related Courses for the Academic Year 2024

No.	学期／ Semester	開講	曜日・時限 / Period	登録コード / Registration Code	科目名／Course title	担当教員名／Instructor	授業の概要 ／ Course description
21	春学期	春学期	木1	MGGE8061	演習／SEMINAR A	織 朱貴	環境問題は、地球規模で国際的に考えなければいけない問題であると同時に、私たちの暮らしのあらゆるところに関わっている問題である。その問題の対策を法律でどのようにコントロールしているか、法の適用とその限界を考えながら解決策を考えていく。地球環境のおよび現実的な観点を意識しながら文献報告と討議を行う。テーマごとに担当者が発表を行い、それに対する質疑応答を重視する。皆でしっかりと議論するためには1人1人がしっかりと準備することが必要となる。指定図書、判例をきっちり読み込んで分析することをベースに、現場実証等を加えて議論を発展させていきたい。
22	春学期	春学期	木1	GSS20690	途上国の開発目標	ブテンカラム ジョンジョセフ	この科目は、途上国を背景に、MDGsとSDGsによって提供している開発目標の現状と思想を理解することをねらいとする。2000年9月、国連ミレニアム・サミットに参加した189の国によって採択された「国連ミレニアム宣言」。これをもとに2015年までに達成すべき国際社会共通の目標としてまとめられたのがミレニアム開発目標(MDGs)でした。ミレニアム開発目標(MDGs)は、特に途上国の人々が直面していた多くの問題を解決する原動力となりました。具体的な目標値を掲げ、15年間の年月をかけて世界が一丸となって取り組んだ結果、多くの命が守られ、人々の生活環境が改善されたのです。その一方で、MDGsの達成状況を国・地域・性別・年齢・経済状況などから見てみると、様々な格差が浮き彫りとなり、「取り残された人々」の存在が明らかとなりました。MDGs最終年の2015年、ポスト2015年開発アジェンダとなる世界の17の目標を定めた『持続可能な開発目標(SDGs)』が、9月25日の国連総会で採決されました。SDGsは2030年までの開発の指針として、格差をなくす(=「誰ひとり取り残さない」)ことを重要な柱とし、MDGs&SDGsの取り組みをさらに強化するとともに、新たに浮き彫りになった課題も加えられた包括的な目標です。途上国の開発を促進するために社会課題と展望を分析し新たな世界秩序の基礎を考察していく。
23	春学期	春学期	木3	LENG7120	CRITICAL THINKING AND SPEAKING FOUNDATIONS	吉岡 愛子	These courses prepare students to be able to understand short lectures/texts based on a specific subject and actively present their ideas with originality. Students will be able to participate in lecture processing skills and conduct tasks such as role-plays, discussions, demonstrations or presentations based on rich authentic input on topics. These courses are designed for students to exercise critical thinking skills to learn about subject content and build language and academic skills around the topics. この科目群では、トピックについての短いレクチャー/文章を理解し、学生が独創性を持って考えを活発に伝えることを学ぶ。ロールプレイ、ディスカッション、デモンストレーション、プレゼンテーションなどの活動に積極的に参加することにより、本質的な内容について学び、英語を実践的に活用できるように学習していきます。これらのコースは、学生がクリティカルシンキングスキルを用い、主題の内容について学び、そのトピックに関する言語とアカデミックスキルを構築できるように設計されています。 This course is designed to create an opportunity to focus on speaking, paying particular attention to meaning, form, pronunciation and fluency. There will be plenty of opportunity to practice critical thinking skills and speaking in English in relation to different topics, enabling chances to develop your vocabulary to aid effective communication. このコースではスピーキングのスキルに特化し、意味や文型、発音を意識しながら流暢に話せる力を伸ばします。様々なトピックについてのスピーキング練習を行い、語彙力を向上させることで円滑なコミュニケーションが取れるようになります。 The United Nations set Sustainable Development Goals (SDGs) in 2015. The SDGs are an urgent call for action that every individual, organization, and country must be fully committed to further step up their efforts to realize our planet as a better place to live. In this course, students view public speeches by various active world citizens who share their own stories. Students
24	春学期	春学期	木5	MZAG5540	HUMAN RIGHTS - UNITED NATIONS HUMAN RIGHTS COUNCIL	ONOJIMA Goro	In the time of SDGs and ESG, sustainability is becoming an increasingly important area for corporate managers (and for public policymakers) to handle in global business operations. Climate change is an example of sustainability issues. What strategic and management vision to demonstrate towards global climate change is becoming a key strategic and managerial issue for the companies in the energy-intensive industry sectors. Human rights are another example of sustainability issue. For the companies operating in the developing countries (such as oil and gas, chemical, pulp and paper, and trading companies), poor strategy and management of human rights often addresses serious risk to their business in the global market. This course introduces concepts and practices of sustainability management. We will read several leading articles to understand how companies can cope with different sustainability issues such as human rights, the environment, product safety and labor relations. By reading them, we will explore how companies strategize and operationalize sustainability. We will also pay attention to the roles of different stakeholders surrounding them including customers, shareholders and employees as well as suppliers, financial institutions, governments and local communities. We will also review key theoretical approaches in sustainability management to gain a conception foundation on this subject.
25	春学期	春学期	金1	GSS20040	途上国の人間開発	ブテンカラム ジョンジョセフ	本科目、「途上国の人間開発」では、経済開発から人間開発へという発想の転換を学ぶことである。そのために発展途上国の現状を把握したうえで、開発を阻む貧困や環境問題を分析し、これらの問題を克服する新たな概念として、人間開発の思想を考察する。そして、道徳・政治・社会・技術・インフラ・経済などさまざまな諸領域における人間開発を可能にする要件を考える。さらに、人間のベシックニーズと共に人間の安全保障の考え方をふまへ、21世紀の私たちに求められるSDGsに基づく人間社会を描くことをめざす。

2024年度 SDGs関連科目一覧 / List of SDGs-related Courses for the Academic Year 2024

No.	学期／ Semester	開講	曜日・時限 / Period	登録コード / Registration Code	科目名／Course title	主担当教員名／Instructor	授業の概要 ／Course description
26	春学期	春学期	金2	MGGE7980	BUSINESS STRATEGIES FOR SUSTAINABILITY	SUZUKI Masachika	In the time of SDGs and ESG, sustainability is becoming an increasingly important area for corporate managers (and for public policymakers) to handle in global business operations. Climate change is an example of sustainability issues. What strategic and management vision to demonstrate towards global climate change is becoming a key strategic and managerial issue for the companies in the energy-intensive industry sectors. Human rights are another example of sustainability issue. For the companies operating in the developing countries (such as oil and gas, chemical, pulp and paper, and trading companies), poor strategy and management of human rights often addresses serious risk to their business in the global market. This course introduces concepts and practices of sustainability management. We will read several leading articles to understand how companies can cope with different sustainability issues such as human rights, the environment, product safety and labor relations. By reading them, we will explore how companies strategize and operationalize sustainability. We will also pay attention to the roles of different stakeholders surrounding them including customers, shareholders and employees as well as suppliers, financial institutions, governments and local communities. We will also review key theoretical approaches in sustainability management to gain a conception foundation on this subject.
27	春学期	春学期	他	HNU65100	国際看護学実習	吉野 八重	開発途上国での国際協力活動に携わる看護職だけでなく、日本国内の医療機関に勤務する際にも、看護職の異文化コンピテンシーの強化が求められるようになってきた。国連の持続可能な開発目標(SDGs)に掲げられた「公平な医療へのアクセスの実現」に向けて看護職が果たす役割は大きい。全医療人材の中で50%以上を占める最大の専門職集団である看護職は、マイノリティ、貧困層などの社会的弱者がおかれている状況に関する包括的知識と理解、共感、擁護するために高度な知識や技術が求められる。本実習では開発途上国特有の社会・保健医療システム、疾病構造、教育制度、看護業務、ケアのあり方が、人々の健康の社会的決定要因、受療行動にどのような影響をもたらすのか、また、文化を超えた普遍的な看護師の役割についての理解を深めること、適性技術の活用に関する実際を見聞することを目的とする。またチベット医学の流れを持つモンゴル伝統医学の統合医療としての人間の捉え方、観察手法、アセスメントについて、実際に学ぶ。さらに大学卒業後の長期的なキャリアプラン・キャリア開発に向けた自身の課題についてを考える機会とする。
28	春学期	1クオーター	火1, 火2	HED52700	国際教育学演習 I*	杉村 美紀	2024年度の国際教育学演習Ⅰは、秋学期に別途開講される国際教育学演習Ⅱとの兼ね合いを考慮しながら、「人間の保障と国際教育」をテーマにゼミを行います。人間の安全保障は、2030年を目標とした持続可能な開発目標(SDGs)の基盤となる概念です。授業では、「人間の安全保障」をめぐる国内外の文献および実践を検討することで、その意義と課題について考えます。 本演習では、参加メンバーの研究関心に基づき、特定のトピックを決め、共通文献や資料を参照に各回の担当者による発表(個人またはグループ)と議論を行い、国際教育学の研究課題と可能性を分析することを目的としています。1～2年次に国際教育学概論で学んだ知識や考え方を基礎に、課題に取り組むことで、事象を教育学的に読み解き問題解決の筋道を模索する能力、人間の尊厳を希求する態度、国際的な視野などを育みます。なお演習では、グループ討論を重視し、他者との議論やディベートを通して多角的に考察する経験を積むと同時に、協働して学ぶことの異議を合わせて習得できるようにします。講義を聴くだけでなく、議論を通じて様々な意見交換の場をもち、比較の視点を重視した学びができるように努めます。昨年度に続き、コロナウイルスの問題が様々な影響を及ぼしている現状をふまえながら、教育(学)が「持続可能な開発のための教育(ESD)」という観点からどのような役割と課題を担っているかに留意しながら議論を深めたいと考えています。 本授業は第1クオーターに実施いたします。1回の授業は2コマ続き(100分×2コマ)で原則として対面授業で実施する予定です。課題の設定や提出等は口ヨラやMoodleを利用し、資料や映像を用いて進める予定です。またクオーターの終わりに、個別に面談を行い、学びの振り返りと秋学期以降の卒業論文研究に向けたフィードバックを行います。
29	春学期	1クオーター	火3, 金3	GSS20520	SUSTAINABLE DEVELOPMENT*	SUGIURA Mikiko	The concept of "Sustainable Development" offers us many controversial topics these days. It is defined as how to balance economic growth, society, and the environment, not only for us but also for future generations. However, is such a thing possible in the first place? What kind of historical background does this concept, which encompasses conflicts of interest, have, and what kind of stakeholders does it involve? Is it possible to achieve a win-win-win situation, and what kind of innovative ideas are needed to achieve it? With creativity and critical thinking skills, you all need to redefine this concept for yourself and implement the ideas. In such a sense, we are involved in these issues as global citizens without exceptions. To find some clue to these questions, we need to know the historical and political backgrounds of the "development" concept, underlying assumptions in context, and environmental carrying capacity as our limits to recognize what we really need and want. The course consists of online work (watching on-demand lectures and online readings) and in-person sessions. English proficiency is required.

2024年度 SDGs関連科目一覧 / List of SDGs-related Courses for the Academic Year 2024

No.	学期／ Semester	開講	曜日・時限 / Period	登録コード / Registration Code	科目名／Course title	担当教員名／Instructor	授業の概要 ／Course description
30	春学期	2クオー ター	火6, 木6	GSS20610	GENDER EQUALITY, INTERNATIONAL COOPERATION, UN, GLOBAL COMMUNITIES AND JAPAN*	佐崎 淳子	In this course, students will learn "gender equality", (i) its meanings, (ii) its importance for social and economic development and international development cooperation, and (iii) its current situations and remaining challenges in Japan and in the World. Students will learn and understand (1) why the development cooperation, its agreements and commitments, such as the Sustainable Development Goals (SDGs), consider "Gender Equality" important as own goals and/or cross-cutting strategies, and (ii) what kind of strategies and actions are being carried out through the multilateral development cooperation, especially the UN development cooperation and bilateral development cooperation such as Japan International Cooperation Agency (JICA). In the classes, we look into the work of UN Program and Funds (UNFPA, UNICEF, WFP, UNDP, etc.), IOM, and UN Technical Organizations (UNESCO, WHO, etc.), and that of Japan International Cooperation Agency (JICA). Through the globalization process, the UN system and international development cooperation have changed, to better fit for the purposes. In 2010, Millennium Development Goals (MDG), and in 2015 Sustainable Development Goals (SDGs) were approved. Gender Equality and Women's Empowerment have been considered as one of the central, key factors for development and poverty reduction (SDG1), from a human rights point of view. It has become mandatory that all development assistance programs incorporate gender equality as cross-cutting strategies, if not its own objectives. Japan is one of the G7 countries and also a donor country for international development assistance. However, Japan ranks number 125th in the World Economic Form's Global Gender Ranking (2023). Japan is even behind some Asian countries which she supports (e.g. The Philippines: 16th, Laos: 55th, etc.), her neighboring countries (South Korea: 21st, etc.).
31	春学期	2クオー ター	±1, ±2	MFIC1130	SUSTAINABLE DEVELOPMENT 1	高瀬 千賀子	This course will examine the major conceptual framework of sustainable development and some case studies. At the same time, there have been some issues which have occurred unexpectedly in recent years, disturbing multilateralism. Therefore, the course will first look into the current debate at the United Nations and see a new process evolving. The course will also look at its relationship with the Agenda 2030 for Sustainable Development. Second, the course will consider the current state of the Agenda 2030 for Sustainable Development, focusing on the SDG Summit held last year (2023). After having considered the current debate both at the United Nations and in the process for the Agenda 2030 for Sustainable Development, the course will study the evolution of sustainable development at the United Nations and the global process that led to the creation and the adoption of the Sustainable Development Goals as a framework for the development agenda. The course will examine the impact of that shift of the concept of development. The course will then study how the 2030 Agenda for Sustainable Development is being implemented, using the case studies of the strategies and policies of selected countries and cities. Finally, the students will be conducting to make a case study on the strategy/plan on the implementation of SDGs by a country/ a city/ a private company. Depending on the number of the students registered, this may become a group work.
32	春学期	春学期集 中	他	SCT6850E	TECHNOLOGY & INNOVATION - CAREER DEVELOPMENT -	Co) KONDO Jiro/ Others	The act of "Innovation" is universal to human beings and is also the core of "Technology". The "things" that are created include hardware, software, and even systems. In this lecture, thanks to the cooperation of the Alumni Association of the Faculty of Science and Technology, we will invite alumni of our university who are active globally as lecturers to give lectures on technology and Innovation in English from various perspectives. In addition, the lecturer will introduce examples of career development in the industry based on his own actual experience, which is also the subject of this lecture. * Taking this course is strongly recommended to all students in Green Science and Green Engineering courses of Faculty of Science and Technology.
33	春学期	春学期集 中	春:他	MGGE6000	日本の環境法	織 朱貴	都市人口の増加(世界人口の50%)と都市拡張(95%)に伴い、都市サステナビリティは、SDGsの「持続可能な都市とコミュニティの目標11」に掲げられている持続可能な開発のための重要な課題の一つとなっている(UN, 2014)。本授業では、Plan-Implementation-Assessmentの流れで構成されており、サステナビリティを実現するための都市計画とマネジメントの全体像の理解を深めることを目的としている。前半に、交通、エネルギー、都市代謝、グリーンインフラ、食料、水などトピックについて説明し、都市の持続可能性のビジョンを探るための議論を行う。また、持続可能な都市の実現と変革を理解するために、官民連携、イノベーションなどの実践的な部分を取り上げる。最後に、都市サステナビリティを評価するための理論、指標、挑戦について説明する。また、将来のビジョンやグッドプラクティスに関するグループワークも予定されている。
34	春学期	春学期集 中	春:他	MGGE6210	ENVIRONMENTAL RESOURCE MANAGEMENT POLICY	SHIBATA Shingo	Under the circumstances of prolonged covid-19 pandemic and the war, the world is moving toward SDGs and resilient, decarbonized society, and protecting biodiversity and natural capital values at the same time. Through this course, students can obtain essential knowledge on global environmental resource management policies, theories and practices toward building sustainable society, including sustainability concept, history of environmental resource management policy, collaborative and participatory policy making, payment for ecosystem services(PES), ecosystem-based resource management, sustainable regional development, global forest conservation policy amongst others. Students are required to conduct group works on reading materials, presentations, and also an individual case study on a specific topic to make a final presentation to submit a final report.

2024年度 SDGs関連科目一覧 / List of SDGs-related Courses for the Academic Year 2024

No.	学期／ Semester	開講	曜日・時限 / Period	登録コード / Registration Code	科目名／Course title	担当教員名／Instructor	授業の概要 ／ Course description
35	春学期	春学期集中	他	GSE30090	TECHNOLOGY & INNOVATION - CAREER DEVELOPMENT-	Co) KONDO Jiro/ Others	The act of "Innovation" is universal to human beings and is also the core of "Technology". The "things" that are created include hardware, software, and even systems. In this lecture, thanks to the cooperation of the Alumni Association of the Faculty of Science and Technology, we will invite alumni of our university who are active globally as lecturers to give lectures on technology and Innovation in English from various perspectives. In addition, the lecturer will introduce examples of career development in the industry based on his own actual experience, which is also the subject of this lecture. * Taking this course is strongly recommended to all students in Green Science and Green Engineering courses of Faculty of Science and Technology.
36	秋学期	秋学期	月2	MGGE7130	都市サステイナビリティ	銭 学鵬	都市人口の増加(世界人口の50%)と都市拡張(95%)に伴い、都市サステイナビリティは、SDGsの「持続可能な都市とコミュニティの目標11」に掲げられている持続可能な開発のための重要な課題の一つとなっている(UN, 2014))。本授業では、Plan-Implementation-Assessmentの流れで構成されており、サステイナビリティを実現するための都市計画とマネジメントの全体像の理解を深めることを目的としている。前半に、交通、エネルギー、都市代謝、グリーンインフラ、食料、水などトピックについて説明し、都市の持続可能性のビジョンを探るための議論を行う。また、持続可能な都市の実現と変革を理解するために、官民連携、イノベーションなどの実践的な部分を取り上げる。最後に、都市サステイナビリティを評価するための理論、指標、挑戦について説明する。また、将来のビジョンやグッドプラクティスに関するグループワークも予定されている。
37	秋学期	秋学期	月3	HEDS1020	INTERNATIONAL EDUCATION	SUGIMURA Miki	This class is part of the Sophia Program for Sustainable Futures (SPSF). International education is often thought of as a subject that addresses educational policies and systems in other countries, but it is not only that, it is an area that analyzes international relations surrounding education, and conversely, it considers how international relations affect education. This class will start with the basic question of what international education is, and explain how international education has developed based on internationalism. The program is divided into two parts: 1) the concept and historical background of international education, and 2) specific areas of international education, focusing on education policy and international relations. The course is offered in English, and students are required to write reaction papers and answer quizzes on relevant topics each time, and are expected to acquire the ability to gather information on various social phenomena related to education and to analyze them from multiple perspectives in collaboration with class participants. ※Non-SPSF students are required to meet the same English language competency requirement as the one for the courses offered by the Faculty of Liberal Arts at Sophia University. Please check the requirement by yourself.
38	秋学期	秋学期	月3	MGGE7140	URBAN SUSTAINABILITY	QIAN Xuepeng	Urban sustainability has become one of the major issues for sustainable development, with the increasing urban population (50% of global population) and expansion (95%) (United Nations, 2014), listed as "Goal 11 sustainable cities and communities" in SDGs. This course is organized in the flow of Plan-Implementation-Assessment to provide a holistic view of urban planning and management for sustainability transformation. Topics such as transportation, energy, urban metabolism, green infrastructure, food and water will be explained and discussed for exploring the visions of urban sustainability. Public-private-partnership, innovation will be covered in implementation part to understand the urban transformation. Theory, indicators, and challenges will be explained in the last part of assessing urban sustainability. Group presentations related future visions and good practices are scheduled too.
39	秋学期	秋学期	月3, 木3	LENG2042	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)*	BABULALL Alexander	On this course, you will apply the study skills you developed in Academic Communication1 to study an academic subject or topic. You will be able to deepen your understanding about a topic and further develop your knowledge, language and critical thinking skills. このコースではAcademic Communication1 で学んだ学習スキルを使ってアカデミックな科目、或はトピックについて学びます。トピックについての知識と言葉とクリティカル・シンキングスキルをさらに伸ばしていきます。 Students will learn, research and teach each other about the United Nations' Sustainable Development Goals (SDGs). Students will use the receptive skills they developed in semester 1 to identify key points and arguments in talks and texts about SDGs. There will be a strong focus on output as students will discuss, write essays, and present about the different goals. Students will use their critical thinking skills to assess which goals are most important, and identify ways to achieve them. Students will be encouraged to think logically and practically to decide which goals are most achievable.
40	秋学期	秋学期	月5	THE50560	ボランティア論	漆原 比呂志	世界の貧困、紛争、難民、環境破壊、そして頻発する自然災害は、近年ますます深刻化し、喫緊の課題となっている。様々な課題への取り組みのため、国連など国際機関のみならず市民社会セクターとそれを支えるボランティアの存在と役割は、これまでになく重要となっている。 本講義では、アジア各国および日本国内のNGO/NPOやカトリック教会による支援活動を担うボランティアの実践について学ぶ。講義、演習、ボランティア体験を通して、ボランティアの意義や社会的役割、使命について考察する。

2024年度 SDGs関連科目一覧 / List of SDGs-related Courses for the Academic Year 2024

No.	学期／ Semester	開講	曜日・時限 / Period	登録コード / Registration Code	科目名／Course title	担当教員名／Instructor	授業の概要 ／ Course description
41	秋学期	秋学期	月5	EMG52500	応用マーケティング	新井 範子	市場の成熟によりサービスへ支出は増加している。サービスのみならず、コンテンツや経験、地域ブランド、キャラクターといった形のないものに対する市場は大きくなっている。形のない製品に対するマーケティングを扱いながら、モノのマーケティングとは違う構造を考えていく。これらの分野はまだ研究がはじまったばかりの分野である。そこでの事例を紹介しながら、ケースを分析し、自分たちで理論を見つけ出せることを目指す。さらに最近のSDGsの動きにマーケティングはどの対応するのか、マーケティングにおけるソーシャルな視点を考えていく。 レポートやケースの分析を複数回提出する。最終提出となるレポートは自分で選択した企業やプロジェクトにてのケース分析を行い、レポートとして提出する。また、講義の最後にリアクションペーパーの提出を求めることもある。講義の進行状況によっては、シラバスの順序が変わることがある。また、講義資料の個々の視聴状況に関しては毎回チェックをします。 またマーケティングの基礎的な科目を履修しマーケティングの基礎を学んだ上で履修することが望ましい。
42	秋学期	秋学期	月5	GSS30360	グローバルベンチャープログラム	高橋 透	・大企業、政府、行政、非営利組織、組織の目的、形態に関わらず、社会や利害関係者の変化を先取りし、これまでにないイノバティブな製品・サービスを企画し、立ち上げること、つまりベンチャーマインドと知識・スキルは、社会で生き残るうえで重要なコンピテンシーといえます。どの学校、どの会社組織に属するかということよりも、「あなたはどのような新しい価値をつくりましたか」が問われる時代になっています。 ・イノベーションの重要な環境トリガーはグローバル社会とそれを加速化するIoT(モノのインターネット)やAI(人工知能)などのDX(デジタル・トランスフォーメーション)です。コロナ後はさらにSDGsの観点が巨大な投資を呼び込み、大きな時代の転換期を迎えています。グローバル社会では、政治・経済、金融に関わらず格差問題、環境問題などの社会課題までもがグローバルにネットワークされることで、これまでになかった新たな文脈の事象が創発される現象が私達の身近なところで起こっています。このような潮流は社会や私たちの生活や働き方を大きく変え、新たな顧客経験価値を創発しています。 ・本学の創立の起源は1549年聖フランシスコ・ザビエルであり、また本学の創立は、イギリス人、ドイツ人、フランス人の3人のイエズス会士の努力によるものです。我々の先人はそれぞれの社会のグローバル化の潮流を先取りし、大胆な挑戦をしてきた人達です。地域、国家を超え、新たな首のネットワークをつくることで、グローバル社会を切り開いてきたといえます。現在の我々のグローバル社会は、いくつもの厳しい課題を突き付けられています。新型コロナウイルスによるパンデミック、保護主義による経済戦争、各地で止まない紛争とその犠牲、経済優先主義による格差社会、AI、IoTなどの情報技術をいかに適正に制御するかなどの社会課題です。 ・本プログラムは、学生の方々に、様々なグローバル社会の課題を認識していただき、自分自身の可能性を感じ取り、イノバティブなことに挑戦する機会とその方法を提供し「新たなグローバル社会を切り開くイノベーターの育成」を目指すものです。そのために授業では自分自身が考える社会課題解決、新しい顧客経験価値の実現としてのイノベーションを構想するワークショップを中心に進めます。ワークショップは、テキスト、参考文献をツールにして、ディスカッションや社会課題解決の演習を通じて、事業構想・計画書を作成いただき周りを説得するインバーダーとしての「学習力」を身につけていただきます。
43	秋学期	秋学期	火2	HED52800	国際教育学演習 II	杉村 美紀	2024年度春学期にとりあげた「人間の安全保障と国際教育」をめぐる議論をふまえ、秋学期は、「持続可能な発展のための教育(ESD)」および「インクルーシブ教育」に焦点をしばってゼミを行う予定です。ESDは、日本でこれまで様々な理論や実践の蓄積があるほか、2030年を目標とした持続可能な開発目標(SDGs)のゴール4(教育)のなかでもその重要性が指摘されています。一方、インクルーシブ教育は、持続可能な社会発展の中で、多様性と包摂性、公正性をどう考えるかという根源的な問いをわたくしちに投げかけています。人間の安全保障を考えるうえで、ESDやインクルーシブ教育がどのような役割を担っているのか。あるいはどのような問題があるかについて、国内外で行われている教育実践をみることで、その意義と課題について考えます。
44	秋学期	秋学期	火2, 火3	GSSS1010	FIRST YEAR LECTURE IN/ABOUT SUSTAINABLE FUTURES	Co) MARUYAMA Hideki	Humanity's most pressing issue is sustainability. Many changes force us to create and develop the conditions for the well-being of the planet, people, and society today. The Sustainable Development Goals (SDGs), which are expected to be achieved by 2030, demonstrate that the 17 goals are about more than our planet's ecosystem because many global and local issues are interconnected. They also determine global and local cooperation for long-term sustainability. For example, how can we achieve economic growth, environmental conservation, and a inclusive society? If we deplete all resources within our lifetime, how will future generations ensure their ability to achieve what they will require? Combinations and collaborations across all academic disciplines could lead to solutions. All SPSP first-year students must take this interdisciplinary course. This lecture series begins with a review of sustainability fundamentals. Following that, professors from six different departments speak about academic discipline and sustainability in their respective fields. The lectures will then be summarized, capturing the most recent trends in sustainability. Generally, each class requires student feedback comments, known as "Reaction Papers," on its lectures and/or discussions. In pursuit of sustainable futures, the course covers the fundamentals of sustainability research and academic discipline. The course ends with preparations for further studies in the disciplines and possible actions for sustainable futures, to be considered at the THIRD YEAR SEMINAR FOR SUSTAINABLE FUTURES.
45	秋学期	秋学期	火2, 金2	LENG2162	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)*	上田 法子	On this course, you will apply the study skills you developed in Academic Communication1 to study an academic subject or topic. You will be able to deepen your understanding about a topic and further develop your knowledge, language and critical thinking skills. このコースではAcademic Communication1 で学んだ学習スキルを使ってアカデミックな科目、或はトピックについて学びます。トピックについての知識と言葉とクリティカル・シンキングスキルをさらに伸ばしていきます。 The theme of this course is sustainable developments goals (SDGs). You will learn about a diverse range of issues related to SDGs. By reading articles and conducting some research, you will build your knowledge about current global issues, share your ideas with classmates and consider how you can contribute to achieve the goals.

2024年度 SDGs関連科目一覧 / List of SDGs-related Courses for the Academic Year 2024

No.	学期／ Semester	開講	曜日・時限 / Period	登録コード / Registration Code	科目名／Course title	担当教員名／Instructor	授業の概要 ／Course description
46	秋学期	秋学期	火3, 金3	LENG4042	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)*	藤田 保	On this course you will learn the English you need to study effectively in an international academic environment. The course is offered at Upper Intermediate level. The language of instruction is English. You will learn how to study effectively using all four skills, listening, speaking, reading and writing. You will produce your own written and oral work in connection with the topics dealt with in class. You will gain deeper understanding of the SDGs not only through studying a textbook but also by engaging in some personal research and projects. You are expected to relate what you learn in the classroom to the actual social activities in the world.
47	秋学期	秋学期	火4	EECS5007	GLOBAL DEVELOPMENT GOALS	PUTHENKALAM John Joseph	This course aims at a deeper understanding of United Nations Millennium Declaration that contains an integrated and comprehensive overview of the current situation of developing nations. Based on data, we analyze the progress made in achieving the Millennium Development Goals through a comprehensive review of successes, best practices and lessons learned, obstacles and gaps, and challenges and opportunities, leading to concrete strategies for action during SDGs period of 2015-2030. This course would enable students to understand theoretical as well as the major goals of development that the international community is striving to achieve now.
48	秋学期	秋学期	火4	HED51600	国際教育学 II	杉村 美紀	本科目は、春学期の国際教育学Iでとりあげた国際教育をめぐる制度や政策の歴史的背景を基に、多文化教育の領域に焦点をあて、発展途上国を含む諸外国および日本における多文化共生社会構築の課題を考えます。授業では、各事例の比較を重視することにより、比較研究方法の特質と課題についても考察します。こうした分析の視点においては、持続可能な開発目標(SDGs)の中で議論されている多様性と包摂性、平等と公正の概念が重要になります。こうした一連の検討をふまえ、多文化教育学ならびに関連する諸学に関する幅広い知識を身につけ、人間尊重 の教育を実現する筋道について総合的・多角的に考究し、自らの考えを的確に表現する能力ならびに 国際的な視野を習得することを目指します。
49	秋学期	秋学期	火4	GSP20980	国際高等教育論②(国際化と国際協力)	梅宮 直樹	世界の高等教育の現状と課題を概観したうえで、日本および世界各地で急速に進む高等教育の国際化に焦点をあてながら大学を取り巻く環境の変化と国際社会による対応、また、そのなかで大学が果たすべき役割について議論する。また、海外の2つの大学の学生とオンラインでつなぎ、3か国の学生が集まって互いの国の文化、高等教育制度や大学生活について意見交換を行う交流授業も実施する(マレーシア、カンボジア・ケニア・エジプトのいずれかの大学)。なお、担当教員はこれまでJICAや世界銀行で25年ほど高等教育の国際協力に携わってきており、その経験・知見を踏まえた講義を行う。 授業時限は火曜日4時限であるが、交流授業を行う2回(日程は調整中)については、相手側大学の都合によっては17:30まで延長して実施する可能性があるが、延長部分は、他の授業と重なって参加出来なくても成績に不利にはならない。 なお、2024年度前期に開講する国際高等教育論①は、日本および世界の高等教育の歴史と現状について地域ごとに詳しく見るのに対して、本講義は、現在世界各地で急速に進む高等教育の国際化に焦点をあてながら大学を取り巻く環境の変化と国際社会による対応を詳しく見ることを通じ、大学が果たすべき役割について議論する。また、国際高等教育論②の履修は国際高等教育論①を履修しなくても可能である。ただし国際高等教育論①を履修しておくのが望ましい。
50	秋学期	秋学期	火5	MGGE806A	演習／SEMINAR C	織 朱貴	環境問題は、地球規模で国際的に考えなければいけない問題であると同時に、私たちの暮らしのあらゆるところに関わっている問題である。その問題の対策を法律でどのようにコントロールしているか、法の適用とその限界を考えながら解決策を考えていく。地球環境のおよび現実的な観点を意識しながら文献報告と討議を行う。テーマごとに担当者が発表を行い、それに対する質疑応答を重視する。皆でしっかりと議論するためには1人1人がしっかりと準備することが必要となる。指定図書、判例をきっちり読み込んで分析することをベースに、現場実証等を加えて議論を発展させていきたい。
51	秋学期	秋学期	火5	GSB20070	共生する社会と身体・スポーツ	コ)島 健	オリンピック・パラリンピックのような国際大会では、世界中の多様な文化を持った国からの選手や、セクシャリティや障がいという個性を持った選手が参加し活躍する。それらのアスリートのパフォーマンスから私たちは単なる競技会という世界を競う側面だけではなく多くの事を考えさせられるのではないだろうか。 共生社会を人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会と考えた時、身体文化のみならず異文化やマイノリティなどについても考えていく必要があるだろう。これまで耳にはしたことがあるが、わかっているようで実はよく知らない・気にしてこなかった事例を題材に、身体・スポーツが果たす役割や影響力の側面から、学生自身に新たな視座の構築と共生社会について考える機会を提供することを目的とする。 本講義では、多様性、多文化など広い視点で共生社会を捉え、身体・スポーツの視点から諸課題について論じる中で、東京2020大会後だからこそ続けてく、人々が共生していくためのさまざまな課題と可能性について考えながら共生社会についての理解を目指す。 この夏に開催されるパリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会の直前に、授業を通してスポーツイベントとしての面だけではなく、多角的な視点を持つきっかけとしたい。
52	秋学期	秋学期	火6	MLLW7470	経済法研究 II	楠 茂樹	公共契約をめぐる官民協働を中心的テーマとして研究を進める。公共契約における契約者の選定手法は経済性の追求と競争性の確保とを柱として、同時に公正性や透明性といった要請も働いている。昨今、SDGsなどにもリンクする形で注目を浴びている「公共契約をめぐる官民協働」はこうした従来からある規律原理とどのような関係にあるか、そしてどのような調和が取られるべきか。協働は一步踏み間違えれば痼着にもなり、官製談合防止法違反や場合によっては独占禁止法違反のような法令違反の問題も生じさせる危険がある。この授業では、比較法的な視点も踏まえ、官民協働をめぐる会計法令上の問題、経済法上の問題を中心に扱うこととする。

2024年度 SDGs関連科目一覧 / List of SDGs-related Courses for the Academic Year 2024

No.	学期／ Semester	開講	曜日・時限 / Period	登録コード / Registration Code	科目名／Course title	主担当教員名／Instructor	授業の概要 ／Course description
53	秋学期	秋学期	水2	MGGE7855	WASTE MANAGEMENT IN ASIA	ORI Akemi	As the international community is to diversify, in order to construct a Recycling-based Society, we need to think about the waste management not only in Japan but also in the entire Asia.The title is the waste policy in Asia, but since waste is an international issue, we will look at waste issues not only in Asia but also worldwide. We will also deal with recent marine plastic issues, Circular Economy, waste and SDGs. In the class, not only lectures but also government officials of automobile recycling and construction recycling, recycling companies, etc. will be invited as guest speakers. In addition to utilizing videos, tours to recycling plants will be conducted.For Doctor Course students, in addition to the basic lectures, we will give more analytical classes based on the themes of their dissertation.
54	秋学期	秋学期	水2	DGGE7160	ADVANCED WASTE MANAGEMENT IN ASIA	ORI Akemi	As the international community is to diversify, in order to construct a Recycling-based Society, we need to think about the waste management not only in Japan but also in the entire Asia.The title is the waste policy in Asia, but since waste is an international issue, we will look at waste issues not only in Asia but also worldwide. We will also deal with recent marine plastic issues, Circular Economy, waste and SDGs. In the class, not only lectures but also government officials of automobile recycling and construction recycling, recycling companies, etc. will be invited as guest speakers. In addition to utilizing videos, tours to recycling plants will be conducted.For Doctor Course students, in addition to the basic lectures, we will give more analytical classes based on the themes of their dissertation.
55	秋学期	秋学期	水2	GSS30290	SDGs実現における森林の役割	コ)柘植 隆宏	持続可能な社会の実現に向けて、森林が担う役割について学ぶための科目である。苗栽培から森林管理、木材流通・加工、住宅、バイオマス発電といった川上から川下までを事業領域に持つ住友林業株式会社から複数の講師を招き、ビジネスの観点から森林の役割について講義を展開していく。併せて、政府や国際機関等、複数の識者を招き、市民、政策の観点からも議論を深めていく。 各授業において個別の論点についてSDGsにおける森林の価値を学ぶとともに政策や国際的な取り組みを俯瞰的に学ぶ機会となる。なお、最終授業終了後、授業内容で興味を覚えた内容についての最終レポートの提出が必要となる。アクティブ・ラーニングとして講演内容に基づき質疑応答を通したディスカッションを行う。
56	秋学期	秋学期	水4	BGSS4003	ADVANCED STUDIES (INTERNATIONAL ORGANIZATION B)	黒川 智恵美	In this course, we will study various roles and practices of international organizations, with an emphasis on international development and cooperation. The course begins with an introduction to key concepts of development and roles of various actors such as states, national development agencies, international financial institutions, United Nations, private sectors, and civil societies. Later, we review and discuss about the UN report, international statistics, and Sustainable Development Goals together to encourage students to think critically about the challenges from various perspectives to consider how international actions affect diverse populations worldwide. Discussions will be held in every class. The course contents and schedule are subject to change depending on students' areas of interest. Guest speakers might be invited.
57	秋学期	秋学期	水4	GSP30170	国際教育開発・協力論(事例研究)	梅宮 直樹	本講義は、発展途上国における教育開発・協力に関わる実践について事例研究的に分析し、議論する。まず、国際教育開発の現状と課題を概観し、人間開発、社会開発、経済開発の3つの視点と、グローバル、国家、学校/コミュニティの3つの分析レベルから、国際教育開発・協力の理論をレビューしたうえで、事例研究として、国際教育開発・協力に関わる主なアクターである国際開発協力機関(多国間機関、二国間機関、非政府組織)を紹介し、その政策・戦略とプログラム/プロジェクトの動向を分析・議論する。また、国別の事例研究として、東南アジア地域とアフリカ地域の教育開発の現状と課題を確認したうえで、各国における教育開発・協力プロセス及び地域統合を目指すアセアンの地域教育協力を分析・議論する。 なお、担当教員はこれまでJICAや世界銀行で25年ほど国際教育開発協力を携わっており、その経験・知見を踏まえた講義を行う。
58	秋学期	秋学期	水5	MFIC1300	STUDIES ON INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 2	梅宮 直樹	This course will provide a case study analysis and discussion of practices related to international educational development and cooperation. First, the current status and challenges of international educational development will be reviewed, and theories of international educational development and cooperation will be reviewed from the three analytical levels of global, national, and school/community. Then, as case studies, the main actors involved in international educational development and cooperation, such as multilateral organizations, bilateral agencies, and nongovernmental organizations, will be introduced, and their policies and strategies as well as trends in programs/projects will be analyzed and discussed. In addition, as region/country-specific case studies, the current status and issues of educational development in Southeast Asia and Africa will be reviewed and discussed. Students are expected to choose issues related to international educational development to explore and analyze issues and to present them in class. While the course “Studies on International Educational Development 1” in the spring semester reviews international educational development cooperation by educational level and its challenges, and global educational issues in detail, this course analyzes the practice of international educational development and cooperation in a case study manner, focusing on the policies and practices of key actors and country-specific educational development issues. The course “Studies on International Educational Development 1” in the spring semester is not a prerequisite for taking this course.

2024年度 SDGs関連科目一覧 / List of SDGs-related Courses for the Academic Year 2024

No.	学期／ Semester	開講	曜日・時限 / Period	登録コード / Registration Code	科目名／Course title	担当教員名／Instructor	授業の概要 ／Course description
59	秋学期	秋学期	木1	MGGE7730	ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES	PUTHENKALAM John Joseph	Environment and Development of around 150 nations of the world that are considered as developing economies will be the focus of this lecture course. This course analyzes various issues related with these countries, where the sustainability of the environment is challenged as economic development is pursued. Can we find a harmonization model of environment and development to overcome the existing problematic models of economic development? The concept of sustainable and human development is an intelligent response towards questions of our contemporary beings. Human well-being and sustainability should therefore be integrated in all areas of our studies. Consequently, let us try to design new harmonization models of development and environment where present generations can enjoy a decent standard of living while making sure that future generations also have a safe planet Earth to make their dwelling. This course would enable student to understand the problems as well as paths of solutions like UNSDGs and Paris Accord (2015-2030) that are open to developing countries.
60	秋学期	秋学期	木1	DGGE7170	ADVANCED ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES	PUTHENKALAM John Joseph	Environment and Development of around 150 nations of the world that are considered as developing economies will be the focus of this lecture course. This course analyzes various issues related with these countries, where the sustainability of the environment is challenged as economic development is pursued. Can we find a harmonization model of environment and development to overcome the existing problematic models of economic development? The concept of sustainable and human development is an intelligent response towards questions of our contemporary beings. Human well-being and sustainability should therefore be integrated in all areas of our studies. Consequently, let us try to design new harmonization models of development and environment where present generations can enjoy a decent standard of living while making sure that future generations also have a safe planet Earth to make their dwelling. This course would enable student to understand the problems as well as paths of solutions like UNSDGs and Paris Accord (2015-2030) that are open to developing countries.
61	秋学期	秋学期	木3	BGS59400	東南アジアの教育と文化	久志本 裕子	この講義の目的は、東南アジア各地のローカルな教育の在り方と、植民地化を通じて広まった近代的教育の在り方の複雑な関係を読み解くことを通じて、私たちに与えられた教育とは何かを考え直すことです。 SDGsの「質の高い教育をみんなに」に代表されるように、貧しい人々も、障害を持つ人々も平等に、基礎的な教育を受けることができるよう保証することは非常に重要かつ難しい課題です。東南アジアは全体としては初等、中等教育の就学率はかなり伸びていますが、それでも自分の能力を十分に開花するだけの教育機会に恵まれない人々は数え切れません。このような状況を見聞すると、「豊かな日本」で教育を受けた「恵まれた」私たちは、直感的に「助けなくちゃ！」という使命感を持つかもしれません。 しかし、「すべての子どもたちに」本当に必要な教育とは何でしょうか。普遍的に価値のある、だれもが学ばべき知識とは何でしょうか。私たちがイメージする「学校」が広まったのは日本でも一世紀少し前のことにすぎませんが、それより前、東南アジアの人々はどういうようにして学んでいたのでしょうか。そこで学んでいた知識や価値は、近代的教育の普及によってどこに行ったのでしょうか。そのように考えると、私たちは「恵まれて」いて、「彼ら」にはそれが欠けている、という考え方には明らかに問題があることが見えてきます。 これらの問題を東南アジアの「ローカル」な視座から具体的に考えることを目指すこの講義では、文化人類学と比較教育学を主な視点として、東南アジアの各地の学校教育の現状と、伝統的な学びの文化が近代化、グローバル化の中で変化してきた過程を概観します。似たような構造を持つ普通の学校だけを取ってみても、各地で大きな違いがあります。こうした違いを実感をもって知るには、文献に加えて、画像、映像等の視聴覚資料や、異なる教育を経験してきた人々の生の声を聴くことが不可欠です。 このため、一学期のうち少なくとも一度は、ZOOMで東南アジアの教育に直接かかわる人々とコミュニケーションをとる機会を設けます。また、期末レポートでは研究対象とする国、教育事象を定めて、それに関する直接的な経験を持つ人々々が発信した資料を集め、その経験を対象社会における教育の状況を踏まえて解釈する、という内容を課します。日常の中で、関係のあるニュースをフォローしたり、ウェブサイト、ソーシャルメディアなどを意識して探して情報収集をしてみてください。
62	秋学期	秋学期	木3	LENG7130	CRITICAL THINKING AND SPEAKING FOUNDATIONS	吉岡 愛子	These courses prepare students to be able to understand short lectures/texts based on a specific subject and actively present their ideas with originality. Students will be able to participate in lecture processing skills and conduct tasks such as role-plays, discussions, demonstrations or presentations based on rich authentic input on topics. These courses are designed for students to exercise critical thinking skills to learn about subject content and build language and academic skills around the topics. この科目群では、トピックについての短いレクチャー/文章を理解し、学生が独創性を持って考えを活発に伝えることを学ぶ。ロールプレイ、ディスカッション、デモンストレーション、プレゼンテーションなどの活動に積極的に参加することにより、本質的な内容について学び、英語を実践的に活用できるように学習していきます。これらのコースは、学生がクリティカルシンキングスキルを用い、主題の内容について学び、そのトピックに関する言語とアカデミックスキルを構築できるように設計されています。 This course is designed to create an opportunity to focus on speaking, paying particular attention to meaning, form, pronunciation and fluency. There will be plenty of opportunity to practice critical thinking skills and speaking in English in relation to different topics, enabling chances to develop your vocabulary to aid effective communication. このコースではスピーキングのスキルに特化し、意味や文型、発音を意識しながら流暢に話せる力を伸ばします。様々なトピックについてのスピーキング練習を行い、語彙力を向上させることで円滑なコミュニケーションが取れるようになります。 The United Nations set Sustainable Development Goals (SDGs) in 2015. The SDGs are an urgent call for action that every individual, organization, and country must be fully committed to further step up their efforts to realize our planet as a better place to live. In this course, students view public speeches by various active world citizens who share their own stories. Students

2024年度 SDGs関連科目一覧 / List of SDGs-related Courses for the Academic Year 2024

No.	学期／ Semester	開講	曜日・時限 / Period	登録コード / Registration Code	科目名／Course title	担当教員名／Instructor	授業の概要 ／Course description
63	秋学期	秋学期	木5	MGGE6230	TRANSDISCIPLINARY STUDIES FOR SUSTAINABILITY	Co) HUANG Guangwei	It is a cross-disciplinary course, covering subjects from environmnetal governance to science. It is taught by international experts and coordinated in an integrative manner.
64	秋学期	秋学期	木5	GSC20050	東アジアの諸問題とイエズス会教育(上智・西江 共同開講科目)	酒井 陽介・李 ウォンギョン	本科目(全学共通科目)の目的は、日韓の学生が、出会いと対話と共通体験を通して他文化を理解し、めざす目標をともに探し、いっしょに歩んでいくというところにあります。 2010年度より実施されてきたSOFEX(上智大学・西江大学スポーツ・文化交流会)によって、西江大学と上智大学の学生が隣国理解、文化理解に努め、両大学の交流を深める機会となりました。本授業はこの経験を活かしながら、同じイエズス会系大学ならではの関係構築にも重点を置きます。学術協定校としてアジアの中で重要なパートナーとなる西江大学と、双方向の学術交流による連携強化を図ります。 上智と西江はともにイエズス会系の大学であり、教育理念を共有しています。それは、すべての人を人種や民族・国籍、宗教、ジェンダーなどの違いを越えて人格の尊厳において尊重し、とりわけ社会の中で弱い立場に置かれた人々の「隣人」になって「他者のための存在」に成長していくことをめざすのです。そのための方法は、イエズス会の伝統において「現実の体験を優先」し、「批判的な視点」で「ものごとを内的に深く知り(internal knowledge)」、「個人と社会を助ける」ことです。そのため、オンラインでの両校担当教授や招聘講師による合同授業を実施するほか、現場学習やそれをもとにしたプレゼンテーションを行います。 今年度は、隣国理解を軸としながら「東アジアにおける国連のSDGsとイエズス会UAPs(Universal Apostolic Preference)研究」をテーマとします。 なお、参加学生を両大学各20名に限定する理由は、イエズス会大学における”cura personalis(個々人の学生の成長を人格的に見守りながら教育を行う方法)”を重視するからです。 当科目の履修にあたっては、選考を行い、合格した者が本科目を履修登録することができます。参加希望者は、後にお知らせする履修申込書を作成・提出してください。告知は、LOYOLAで行いますので、注意してください。選考後、結果はLOYOLAの個人掲示板の呼び出しにて通知します。
65	秋学期	秋学期	金2	HJNS6030	GLOBAL MEDIA PROGRAM	D SOUZA Arun	NHK WORLD-JAPANの番組制作を学ぶことで、国際公共メディアの特徴や役割、ファクトチェックの重要性について理解する。 実践テーマ:「Direct Talk」のフォーマットで、上智大学の SDGs 活動を展開するユニークな人物を紹介する番組を制作 The goal of the class is to understand the characteristics and roles of international public media and the importance of fact-checking by learning about NHK WORLD-JAPAN' s program production. Practical Theme: To produce a program introducing a unique person who develops Sophia University' s SDG activities in the format of “Direct Talk” (Relatively simpler since it is in interview structure)
66	秋学期	秋学期	金2	GSS30270	SDGsとグローバルリスク	コ)西澤 茂	・日本航空の直面するイベントリスクへの対応、SDGsのゴールを達成する為のESG経営の実践、及びネットワークを活かしたSustainableな地域活性化の取り組みを題材として取り上げます。 ・講義形式の授業後に、学生に課題を提示し、「グループワーク⇒発表・講評」を授業において3回実施します。
67	秋学期	秋学期	金3	MGGE7960	STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	SUZUKI Masachika	Recently, we see more extreme, sometimes catastrophic events in many parts of the world. Scientists demonstrate better evidence indicating the link between our economic activities and the environmental degradation. We are beginning to realize that environmental issues are no longer negligible in business operations. Negligence of the issues may result in serious economic loss for a company. On the other hand, many companies have begun to recognize environmental management as a way forward to generate profitable opportunities. Toyota made a major investment to produce hybrid cars before its competitors. As you witness now, the hybrid cars have been sold well in the international market. Another example can be observed in the chemical industry. DuPont placed research and development efforts in producing alternative chemical to the ozone-depleting CFCs (chlorofluorocarbons) in the 1980s. The company successfully developed alternative chemical to CFCs and altered its strategic position on international regulation (Montreal Protocol) to ban CFCs. This course introduces essential concepts of strategic environmental management as well as leading practices of environmental management. To begin with, we will review essential theoretical approaches in strategic environmental management. Through the review, we will be able to gain conceptual foundation on this subject. We will use several case studies to help us understand environmental management in practice. We will then explore the linkages between concepts and practices. Some questions that we will address in this course are following: 1) What are the leading examples of environmental management among companies? 2) How are the companies dealing with global environmental sustainability issues such as SDGs (Sustainable Development Goals), ESG (Environment, Social, Governance), and climate change?

2024年度 SDGs関連科目一覧 / List of SDGs-related Courses for the Academic Year 2024

No.	学期／ Semester	開講	曜日・時限 / Period	登録コード / Registration Code	科目名／Course title	担当教員名／Instructor	授業の概要 ／ Course description
68	秋学期	秋学期	金3	DGGE7110	ADVANCED STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	SUZUKI Masachika	Recently, we see more extreme, sometimes catastrophic events in many parts of the world. Scientists demonstrate better evidence indicating the link between our economic activities and the environmental degradation. We are beginning to realize that environmental issues are no longer negligible in business operations. Negligence of the issues may result in serious economic loss for a company. On the other hand, many companies have begun to recognize environmental management as a way forward to generate profitable opportunities. Toyota made a major investment to produce hybrid cars before its competitors. As you witness now, the hybrid cars have been sold well in the international market. Another example can be observed in the chemical industry. DuPont placed research and development efforts in producing alternative chemical to the ozone-depleting CFCs (chlorofluorocarbons) in the 1980s. The company successfully developed alternative chemical to CFCs and altered its strategic position on international regulation (Montreal Protocol) to ban CFCs. This course introduces essential concepts of strategic environmental management as well as leading practices of environmental management. To begin with, we will review essential theoretical approaches in strategic environmental management. Through the review, we will be able to gain conceptual foundation on this subject. We will use several case studies to help us understand environmental management in practice. We will then explore the linkages between concepts and practices. Some questions that we will address in this course are following: 1) What are the leading examples of environmental management among companies? 2) How are the companies dealing with global environmental sustainability issues such as SDGs (Sustainable Development Goals), ESG (Environment, Social, Governance), and climate change?
69	秋学期	秋学期	金4	FLS63000	ブラジル社会開発協力	蛸山 はるみ	本講義は日本政府がブラジルで支援した社会開発プロジェクトの現場の話を通して、社会開発協力への理解をはかる。導入として、ブラジルとプロジェクトが実施された北東部について概観する。また、社会開発の基礎と政府開発援助、国際協力機構(JICA)を中心に国際協力の基礎を学ぶ。 ブラジルは、ロシア、インド、中国、南アフリカをはじめとするBRICSのメンバー国として経済発展が注目されているが、国内に大きな社会格差と貧困の問題を抱えている。こうした課題解決の取り組みの一つとして「健康は生活の場でつくられる」というヘルスプロモーションの考え方にもとづく「まちづくり」がすすめられている。内発的地域開発の取り組みである。 ブラジル政府は日本に対し、この取り組みへの協力を要請した。日本政府はODAの実施機関である国際協力機構(JICA)そして厚生労働省の国立国際医療センターを通して、2003年12月から5年間、ブラジル北東部における「健康なまちづくりプロジェクト」に協力した。このプロジェクトは、世界保健機関(WHO)のヘルスプロモーションという戦略に基づいているが、特に「住民と行政が協力して健康なまちづくりをすすめる仕組みをつくること」に焦点をあてた。健康なまちづくりを推進する人材の養成、人々の持ち味や潜在能力を生かしたコミュニティづくりの肯定的手法、住民と役場の様々な部局がともにまちづくりを考える場、まちとまちの学びあいのネットワーク、そして大学や州政府による支援等、様々な仕組みづくりの過程を見ていく。まちの人々の意識がどのようになり、また、どのような活動が展開されて来たか、プロジェクト終了から現在に至る様子も含めて紹介する。ブラジル政府のSDGsの取り組みとの関連についても触れる。 ODAによる開発協力のプロジェクトは、あくまでもある地域や国のダイナミックな発展のプロセスに点とし働きかけるものである。こうした限られた事業を通していかにしたら人々のしあわせな暮らしづくりに貢献できるのか、ブラジルと日本の関係者の試行錯誤を紹介する。協力における日本側の触媒としての役割の大切さも考えたい。 本校でポルトガル語を学び、地域研究、国際関係論の考え方に触れた本講師は、上述した社会開発プロジェクトの専門家チームで、異文化間協力におけるコミュニケーションの促進ということにもかかわった。信頼と対話の大切さ等その経験から学んだことについても触れる。 ある特定のプロジェクト中心の話になるが、これを入口に、グローバル化が進み、様々な危機に直面するこの世界で、人々が共にしあわせに暮らすためにはどのような国際協力が必要なのか、開発協力の現場に関心のある、あるいは国内のまちづくりに関心のある受講生と一緒に考えていきたい。他学部、他学科の学生の参加も大歓迎である。
70	秋学期	秋学期	金5	MFIC1530	環境と開発2	杉浦 未希子	このクラスでは、SDGs(持続可能な開発目標)を世界共通のゴールと位置づけ、以下のような一連の問いに取り組む: - 日本の歴史の中で「自然」の概念や価値観はどのように変化し、あるいは変化してこなかったのか - 人々と環境の相互作用はどのように決定されてきたのか - 近代化の圧力の下で、どのような公害政策が実施されてきたか - 2011年以降、日本人の自然観は変化したのか - SDGs達成のために、日本の環境史からどのような教訓を得ることができるのか これらの一連の問いの検討を通し、「自然」の概念や価値観、歴史上の諸事象、アクターや主体、さらには日本の環境問題に関する主要な政策の内容を探究する。 授業に必要な専門分野は、環境史、環境政策学、政治生態学(政治経済学)であり、一部、農業工学の社会科学的側面にも焦点を当てる。 発表者や他の学生との双方向の活発な議論が期待される。 日本語の読解力(授業で使用する教材は日本語のものもある)に加え、英語力が必要。 ***** In this course, having SDGs (Sustainable Development Goals) as the global goals in common for us al, we address a Series of questions like below: - How could we understand the changing or/and unchanging concepts and values of “nature” in Japanese history, - How the interaction between people and the environment has been determined,

2024年度 SDGs関連科目一覧 / List of SDGs-related Courses for the Academic Year 2024

No.	学期／ Semester	開講	曜日・時限 / Period	登録コード / Registration Code	科目名／Course title	担当教員名／Instructor	授業の概要 ／Course description
71	秋学期	3クオー ター	火3, 金3	GSS20521	SUSTAINABLE DEVELOPMENT*	SUGIURA Mikiko	The concept of "Sustainable Development" offers us many controversial topics these days. It is defined as how to balance economic growth, society, and the environment, not only for us but also for future generations. However, is such a thing possible in the first place? What kind of historical background does this concept, which encompasses conflicts of interest, have, and what kind of stakeholders does it involve? Is it possible to achieve a win-win-win situation, and what kind of innovative ideas are needed to achieve it? With creativity and critical thinking skills, you all need to redefine this concept for yourself and implement the ideas. In such a sense, we are involved in these issues as global citizens without exceptions. To find some clue to these questions, we need to know the historical and political backgrounds of the "development" concept, underlying assumptions in context, and environmental carrying capacity as our limits to recognize what we really need and want. The course consists of online work (watching on-demand lectures and online readings) and in-person sessions. English proficiency is required.
72	秋学期	3クオー ター	火6, 木6	GSS20600	ジェンダーの平等 国連・国際協力、世界と日本*	佐崎 淳子	グローバル化が進む中、国連、国際協力の在り方も、歴史を通して変化・変遷してきている。2010年にミレニアム開発目標(MDGs)、そして2015年に、「2030年アジェンダ - 持続可能な開発目標(SDGs)」が採択された。そして、「ジェンダーの平等」、「女性の地位向上」、「男女共同参画」と「人権」なくして、真の意味での開発・貧困削減は達成されず、人道・緊急援助における、「ジェンダーの平等」の重要性も認識されるようになった。SDGs(持続可能な開発)を達成する上で、国際協力に、「ジェンダーの平等」をさまざまな分野に組み込むことは不可欠な要素となっている。 日本はG7のメンバーであり、また開発援助支援国である。しかし、世界経済フォーラムでのグローバル・ジェンダーランキングにおいては125位(2023年)であり、韓国(105位)や中国(107位)や、また日本の支援国であるアジア(フィリピン16位、ラオス55位)、アフリカ(ルワンダ12位、ナミビア8位)や中南米の国々(ニカラグア7位、コスタリカ14位)よりも後れをとっている。その要因、そこからくる社会的弊害、また日本の現状と課題について考えてみる必要がある。 日本では、少子高齢化により人口減少が進む一方、世界の人口は開発途上国で増え続けている。少子高齢化や人口増加も顕著にジェンダーが関与しており、その対策にも真の意味での早急なジェンダーの平等・女性の地位向上が必要とされている。少子高齢化に直面する国々は、労働人口確保の必要性に迫られている。移民政策だけではなく、ジェンダーの平等、男女共同参画や女性の地位向上などの政策設定に試行錯誤しながら、様々な社会的変革が起きている。 授業では、 1) 「ジェンダーの平等」、「男女共同参画」、「女性の地位向上」を、国連やグローバルな観点、国際協力、日本や世界のさまざまな国の事例から学び、理解を深める。 2) 「ジェンダーの平等」や「女性の地位向上」が、次のような様々な課題（貧困削減、食料支援、人口と開発、リプロダクティブ・ヘルスと権利、ジェンダーに基づく暴力、国際医療保健、教育、労働、気候変動、難民、移民、紛争下における人道援助等）においてどのように配慮されているかについて、実例を挙げて考察する。 3) SDGs(持続可能な開発)、貧困削減、国際保健医療(感染症、Covid-19)、人口と開発、教育、気候変動、人道・緊急援助等を「ジェンダーの平等」の観点
73	秋学期	4クオー ター	火6, 木6	MFIC1420	INTERNATIONAL DEVELOPMENT COOPERATION: POPULATION, HEALTH, GENDER AND HUMAN RIGHTS	佐崎 淳子	In this course, students will learn International Development Cooperation for achieving the sustainable development goals (SDGs), especially for poverty reduction. The focuses are: the general basics, history, key actors, inter-relations, cooperation, coordination, United Nations System (The UN Economic and Social Commissions, Technical Organizations and Programs and Funds), Governments, NGOs, CSOs, Media and Parliamentarians, politics, diplomacy, negotiations, decision-making processes for development policies, programs, funding and ODAs, humanitarian assistance. Special thematic focuses are: population and development, population dynamics (population bonus, low fertility, ageing, migration, child marriage, child labor, etc.), social policies, international health, universal health coverage (UHC), gender equality and women's empowerment, climate changes, disaster risk reduction and management, human rights based approaches. During the four workshops, students will prepare and present case studies and group discussions will be held to deepen the practical understanding.
74	秋学期	秋学期集中	他	MGGE7760	URBAN SYSTEMS DESIGN OF SMART CITIES FOR ACHIEVING SDGS	YAMAGATA Yoshiki	Sustainable tourism is on demand and also becoming a necessity for locals who seek to preserve the environment around them. Students will learn through different cases of sustainable tourism, and brainstorm to implement new models with this course, learning from real life cases in Japan. The course will take place in workshops in September thru November. Students must be able to attend all the workshops.